

菜

なたね

種

編集と発行

北栄町農業委員会
北栄町土下112（北条庁舎）
TEL (0858) 36-5567

大阪の小学生が鉢植えの観賞用すいかを観察中

「あっ、すいかが
なっている」

「食育の取り組みについて」

大栄西瓜協議会会長 福山 浩

平成17年6月に食育基本法が制定されました。これを受け、毎月19日を食育の日、6月を食育月間と定められ、食の大切さを学ぶことを目的に、全国各地で関係機関と保育園、小学校等が連携し、近年積極的に取り組まれています。

大栄西瓜協議会では、平成19年より大阪中央青果の協力で豊中文化幼稚園、玉川小学校、鷺洲さぎす小学校で食育授業を行ってきました。鷺洲小学校では食育の日に合わせて、全校参観日があり、4年生の児童と保護者が一緒に食育授業で食の大切さを学んでいました。西瓜の授業では、西瓜の鉢植えや写真で西瓜の出来るまでを説明し、1個の中の種の数やジャンボ西瓜重量あてのクイズ等を行いました。児童や保護者から、普段はスーパー等でカットした西瓜しか見ていないので、いろいろ質問があり西瓜に感心を持って頂きました。授業の後に、親子でおいしそうに何個も西瓜を食べる姿を見ると食育授業の意義を痛感いたします。校長先生、大阪中央青果・中島社長からは食育授業を通して農家の人が苦労をして育てた農産物の大切さや親子で会話をしながら食事をしっかり取ることをお願いされました。これに加えて、今年はJA鳥取県中央会にて鳥取第一幼稚園の園児を対象に西瓜の食育授業を行いました。

大栄西瓜協議会では、この他にも西瓜の出発式に出席した保育園児、小学生が選果場の見学を通じて大栄西瓜について学ぶ機会を提供しました。今年は14年ぶりに大栄西瓜祭りを開催し、県内の消費者と生産者の交流の場を持ちました。今後も食育授業、消費キャンペーン、西瓜祭り等を通じて顔の見える産地づくりに積極的に取り組んでいきたいと思っております。

農業基本条例の制定の取り組みを

北栄町農業委員会農政委員会委員長 濱坂 良男

北栄町農業の全国的位置付けをご存じでしょうか。農産物販売品販売高で見るとＪＡ鳥取中央は160億円で全国715ＪＡ中50位です。ちなみにＪＡいなばは70億円、ＪＡ鳥取西部は112億円でまさに中部は農業どころです。さらにその中でも北栄町は53億円でその33%を占める農業の町です。全国に誇る大栄西瓜を始めラッキョウ、長いも、ブドウ、肉牛、ストックなど1億円品目が13もあり、多様な農業が展開されています。

北栄町はまちづくりビジョンを策定し、げんきなまちづくりの最初に農林業の振興を掲げ、さらなる発展を展望しています。しかし、残念ながら農業者にも一般住民にもその意識を深める具体的な政策は見えず、農業者の高齢化（全国農業従事者の平均年齢は65.8歳）、遊休農地の拡大（北栄町に60ヘクタール）、農業所得の不安定など将来への見通しができない状況ではいつまでも時間的余裕があるわけではありません。

そこで、農業委員会は、まず町政策の基本的姿勢をしっかりと町民に示し、具現化するための共通意識の醸成を図ることが必要だと考えています。その強い意志を内外に示すために首長は「農業の町」宣言と「農業基本条例」の制定を速やかに実行すべきだと考えます。農業をまちづくりの根幹としその振興を図ることによって「5つのまちづくり基本目標」の達成を図るべきだと考えます。

風車の下が荒れ地では台無しです。通学路の周辺が荒れ地では危険です。散歩道周辺がゴミだらけではリフレッシュもできません。農業は自然を守り、環境を保全し、安心を提供しています。すばらしい環境の中でゆったりと暮らせる町、そんな北栄町のまちづくりのスタートは「農業の町」宣言と「農業基本条例」の制定でその強い意志を内外に示すことではないでしょうか。

嫁にこないか。

農業委員会が抱えている課題のひとつに、農業後継者の嫁不足が掲げられています。

そんな中、上種の専業農家 平信和也さんは、早由さんという素敵なお嫁さんを迎えられました。

平成21年に結婚されたそうです。そこで、農業委員の齋尾委員が、早由さんにインタビューをされました。早由さんの了解を頂き、インタビューの内容をまとめてみました。

- ・早由さんは北栄町江北生まれ、特技はピアノを弾くこと。結婚前は介護の仕事をしていた。
- ・平信農園ではトマトを担当していて、トマトが大好き。

Q 大変だと思える仕事は何ですか？

A ハウス内の仕事とスイカの収穫かな。

Q 農家は儲からないとよく言われますが？

A 特に考えたことはありません。儲からないというよりも、儲かるよう努力して働くことです。

（広報委員 パチパチ！ すごい。）

Q 農業の楽しいところはどんなところ？

A 気候に左右されながらも、頑張って育てていく姿を見るのが楽しい。

Q リフレッシュの方法は？

A 家族と出かけることです。

Q 農業の将来について、女性の立場から何か言っておきたいことはありませんか？

A 特にありません。

（広報委員 平信家に嫁ぎ、家族に見守られて生活している早由さんにとって、農業は家族の絆なのだと感じました。）

Q 最後の質問になりました。スイカは好きですか？

A スイカは大好きです。

（広報委員 早由さん、ご協力ありがとうございました。ますます、素敵な農家のお嫁さんでいてください。）



平信さんご夫婦

ただ今、長野で研修中

～長野発トップリパーで学ぶこと、気付かせること～

大谷 森本 充裕



北栄町の皆さん、お久しぶりです。私は今、長野のトップリパーという農業法人にパートとしてお世話になりながら農業とは何かを学んでいます。この度、原稿を書かして頂くことになり、自分自身を見つめ直す気持ちでトップリパーから学んだとても大切なことを書いてみたいと思います。

それは、農業を職にしようとする時、「農家を継げる」ということがどれだけ恵まれたことであるかということです。

この会社では農繁期は月300時間以上働きます。これは長野の気候上、冬は寒さのために野菜を作ることが出来ないというのが一番の要因です。

5月中旬辺りから朝4時半会社集合～昼休憩～夜7時半頃まで仕事をしています。本来、パートは夕方5時上がりですが、勉強のために私も最後まで手伝わせてもらっています。

正直、農家に2年従事していた身でも体力的、精神的に辛いと思う時があります。しかし、この会社の方々は弱音を吐かず、それどころか少しでも多くの知識を吸収しようという熱意を感じます。私は、就農するにあたって両親からたくさんの基盤を、町の先人たちからは名産物を、町からは平らな農地、日本有数の灌水設備など本当に多くのものを頂いています。極端な話、全国的に見てもある程度、裕福な農業がいつでも出来る環境で育ってきました。

しかしその反面、それが当たり前だと思い、その環境に私はどれだけ甘えていたのだろうということに社員の方々と一緒に働いて痛感しました。社員の方々は非農家という環境からこの会社で5～6年研修をしてそれぞれ独立し、新規就農を志す人たちがばかりです。

攻めの気持ちで農業をしている人間、守りの気持ちで農業をしていた人間。このことから生まれる差は本当に大きなものでした。

私の目標は、家を盛り上げ、町を盛り上げ、鳥取を盛り上げる農業をすることです。この目標は農業を学べば学ぶほど、

どれだけ大きな目標なのだと気付かされます。しかし、私はこの目標を全く諦めるつもりはありません。この会社には残り2ヶ月しかいないので全てを習得することは出来ないでしょうが、少しでも多くのことを学び、それを鳥取に持ち帰ってこの目標を成就させるために活かせればと思っています。

私には県内屈指の農業が盛んな町、そこにある我が実家、そしてこの会社の方々に負けず劣らずの熱意溢れる同級生や先輩、後輩がたくさんいます。後は本当に自分次第なのです。

残り2ヶ月間、さらにさらに自分を追い込んで、鳥取に帰った際には両親に忙しい中トップリパーに行かせてくれて本当にありがとうございましたと言える様に真摯に努力していきたいと思っています。つたない文章ではありましたが最後まで読んで頂きありがとうございました。また、鳥取に帰ったら皆さんと仕事や飲み会が出来るのを本当に楽しみにしております。



早朝からのレタスの収穫風景

～ J A だより ～

□ 東日本大震災復興支援イベント
(東北に「夢」と「希望」と「スイカ」を贈ろう) □

6月25日と26日に「がんばろう日本！中部発！食のみやこフェスティバル～第10回JA鳥取中央地産地消フェア」が開催されました。そのイベントの一つで東日本大震災復興企画「東北に夢と希望とスイカを贈ろう」を発信したところ来場者・生産者・関係者から暖かいご支援をいただき、ありがとうございました。

「旬」を迎えた「鳥取スイカ」を被災地「宮城県農協中央会」木村会長に「1000個」のスイカを贈り、美味しいスイカを味わっていただき、元気をも届けました。皆様のご支援ありがとうございました！



宮城県農協中央会館前にて

優秀農業川柳

1月28日(金)に行われた「農業が結ぶ・地域のきずな」オー
ル北栄アグリフォーラム」で募集した農業川柳の受賞作品から一
部をご紹介します。

※一般の部

【優秀賞】

草藪の 農地へ税を 撒いている

脇坂 宣子(下 神)

田おこしで 寝ぼけカエルと はち合わせ

青亀 恵一(弓 原)

菜の花油

早いもので今年で3回目の菜の花油が出来ました。年々販売先が増え、クラカフェ、食のみやこ鳥取プラザ、赤瓦1号館と町内の販売先から外へと広がっています。1本200mlで600円、簡単なレシピ付。多くの方を買って頂きたいものです。遊休地の解消、景観の保全、その副産物が菜の花油だと思います。平成23年度の菜の花プロジェクトの参加者を募集しておりますので多くの方の参加をお待ちしています。

(前田 浩明)



農地流動化情報

各集落や地区内における農地の売買契約、貸借契約に至らなかった土地について、地区外などからも広く対象者等を募ることを目的として、流動化の情報を公開します。

詳細については「農地流動化情報台帳」として農業委員会で閲覧できます。

※買い手、借り手の方については、耕作面積等農家要件が必要です。

※掲載を希望された情報です。

《売りたい・貸したい》

No.	農地の所在	地目	面積(a)
1	江北背戸(貸借のみ)	畑	10
2	江北背戸(貸借のみ)	畑	2
3	江北西左右田(貸借のみ)	田	17
4	亀谷矢田(貸借のみ)	田	49

投稿

当たり前が当たり前で無いことに感謝

3月11日の大震災、それに伴う福島原発事故で、極々当たり前の事であるが、思い知らされた。食糧あってこそ生きられるのだと。

人は大昔から、生きるために農耕をするようになり、そのため自然の移り変わり、天文を掌る事は、一国の王として権力を握ることそのものだった。

現代日本の食料は農家のかたのプロ意識により、安心して安全、美味しいのは当然で新鮮且つ、見た目の美しいものが当たり前である様に消費者意識は変化し、そのことがどれだけ地球全体からして希少なもののなのか。我々の消費者の欲求を満たすべく、科学的根拠に基づきより美味しく、いつでも、より安価に提供され、この農家の方の専門性に対して、目も耳も閉じていて正確な理解をしてこなかった。世の中の人にはもっとそのことに目をむけ耳を傾ける努力をしないとけないと思う。

食事の時唱える言葉である「五観^{ごく}の偈^ぎ」の中の「一つには、功の多少を計り彼の来^{らい}処^{しよ}を量る。四つには、正に良薬を事とするは形枯^{かいか}を療^{りやう}せんが為なり。」を常に心に留め置きたい。

(由良宿 家庭菜園を営む消費者

M. Y)

シリーズ 農業委員活動

⑦

今回は、農地パトロールについてご説明します。

農業委員会は、農地の公的管理主体として、農地の荒廃・乱開発を防ぎ、優良農地を確保する役割を担っています。このため、農地パトロールを実施し、農地の活性化・有効利用を図るための遊休農地等の確認や調査をしています。また、農地等の汚染につながる産業廃棄物の不法投棄や農地の無断転用の発見・防止、転用許可後の使用状況調査など農地法の励行に努めています。

○農地転用には許可が必要ですが必ず申請を

農地を住宅・倉庫・作業所など農地以外の目的に利用する場合には、事前に農地法に基づく転用の許可が必要です。資材置場や残土置場などのために一時的な利用をする場合も同様です。

〔編集後記〕

残暑お見舞い申し上げます。

毎日暑い日が続いておりますが、そんな中で、北栄町特産のラッキョウを始め、大栄スイカ等、農家の皆さんの日々の努力の結果、目標通りの生産量、販売高を達成することができました。暑さにも負けず…の頑張りだったと思います。現在は砂丘はどう収穫の真っ最中です。

そして、あの東日本大震災から五ヶ月が過ぎました。一歩ずつ復興に向けて頑張っている姿に私は胸に手をあて、「がんばれ、がんばれ」と祈っています。又、津波で田畑に塩水が流れ、どうなのかと心配していたところ、その塩水を利用してトマトを栽培している前向きな姿に、私は「大丈夫」だと感じました。

私達、農家もこれからはますます忙しくなります。収穫できる喜びに感謝しながら頑張ります。

(淀瀬千賀子)

広報委員

淀瀬千賀子 河原廣美 前田浩明
森本真理子 大西仁美 齋尾智弘